一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和４年第１回定例会

令和４年３月７日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	日本共産党議員団 北 林 智 子	1　保育行政について 2　お買い物クーポン券について
2	令和自民クラブ 天 野 俊 宏	1　西向日駅前整備について 2　竹の径を活用した観光振興について 3　防災士について 4　市制 50 周年記念事業と教育 150 年記念事業について
3	公明党議員団 福 田 正 人	1　デジタル田園都市構想に関する取り組みの推進について 2　自販機リサイクルボックス異物混入について
4	ＭＵＫＯクラブ 太 田 秀 明	1　大規模事業による市民のメリット・ディメリットについて 2　健康増進センターと市民温水プールについて 3　学校・保育園・幼稚園のコロナ感染について 4　保育所について 5　多目的グラウンド設置の進捗状況について
5	令和新政クラブ 上 田 雅	1　ごみ等に関する施策について 2　農業等に関する施策について
6	杉 谷 伸 夫	1　「ゆめパレアむこうの今後」の検討の場に利用者･市民の参加を 2　ＪＲ向日町駅自由通路事業と東口再開発事業について 3　地球温暖化対策の目標達成へ、向日市行政に求められることは？ 4　個人情報保護条例の改正に、向日市はどう向き合うか？
7	日本共産党議員団 山 田 千枝子	1　ゆめパレアむこうの市民温水プールを存続することについて 2　職員の公正な職務の執行の確保に関する条例制定後の組織の変化と市民との信頼関係について 3　阪急洛西口駅西地区土地区画整理事業の送電鉄塔建替工事などについて
8	令和自民クラブ 永 井 照 人	1　農地所有者の立場から特定生産緑地と税等について 2　ゼロ成長時代及びコロナ禍の中で本市の教育等の取り組みについて
9	ＭＵＫＯクラブ 和 島 一 行	1　猫の餌やり禁止看板、他について 2　竹の径の整備について 3　公式 LINE アカウントのバージョンアップを

１０	村　田　光　隆	１　災害時の自宅療養者、濃厚接触者の避難場所について ２　帯状疱疹の予防接種費用の助成を求める
１１	日本共産党議員団 常　盤　ゆかり	１　ジェンダー平等社会の実現に向けて ２　手話言語条例の状況、加齢性難聴者への支援について ３　不登校・ひきこもり支援について
１２	飛鳥井　佳　子	１　国連の「世界社会正義の日」を広く啓発し、市役所・学校等で実践することについて ２　男性の育児休業取得促進等ジェンダー平等社会の構築について ３　飼い主のいない猫の不妊去勢手術等補助金交付制度の拡充について ４　五塚原古墳とはり湖山の自然の保全について ５　コロナ禍の海外ルーツの子どもたちの支援施策をすることについて ６　第３保育所跡地を活用し、休園時「代替保育」を！
１３	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　コロナ対策及び検査体制について ２　向日市のＣＯ2 削減による気候温暖化対策 ３　都市計画道路牛ケ瀬馬場線について ４　通学路の安全対策
１４	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　JR 向日町駅について ２　精神障がい連絡員の設置について ３　道路整備について ４　災害時のペットへの対応について ５　小中学校におけるタブレット端末の使用について
１５	日本共産党議員団 丹　野　直　次	１　原発事故から１１年目の防災対策について ２　府道の整備改修と計画路線の改廃について ３　東山への「ぐるっとむこうバス」のルート改定を急げ ４　憲法９条と「敵基地攻撃能力」について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．保育行政について	１、コロナ禍での保育行政等について ①第６波までの経験から、コロナ禍での保育の課題、改善すべき点、改善した点を聞く。 ②保育所が休園になった場合の家庭支援について ア、子どもや保護者のしんどさの軽減や虐待予防の観点からも、どのように把握・支援がされているか。 イ、保健センターや保育所などと連携し見守り体制を強化することが必要と考えるがいかがか。 ③非正規（時間額報酬）の保育士の賃金について コロナで休所になった場合、非正規の保育士の賃金保障はできないか。また、公立保育所でも「小学校休業等対応助成金」は使えるか。 ④子どもがコロナに関係して欠席したことを証明する、保護者が仕事を休むために必要な書類について様式をつくり発行できないか。（保育所・小学校など） ２、育児中のきょうだいの保育について 育休中の上のきょうだいの休所対象年齢が、育休中のすべてのきょうだいが保育を継続出来るよう（1歳まで引き下げ）にして頂きたいがいかがか。 ３、保育士の処遇改善について 政府は、２２年２月から９月の間、ケア労働者の賃金を月額9,000円引き上げる処遇改善事業を進めている。向日市でも、公立保育所、会計年度任用職員・民間保育園保育士・公立、民間留守家庭児童会の指導員（会計年度任用職員）は賃上げの対象。なぜ公立保育所の保育士は、対象とされないか。 ４、障害児の保育について 令和３年第４回定例会に、「障がい児の保育に関する請願」と、1512筆の署名が提出され、議会でも全会一致で可決された。この願いが、迅速に具体化、実現

	されるよう以下質問する。 ①この結果の重みを、市としてどう受け止められているか。 ②請願項目について一つひとつ、現在、お考えの施策や見通しを尋ねる。 ③その人の生涯を含めて支援すること、障がい児やその家族に優しい行政の力が必要ではないか。見解を聞く。 ５、令和４年度４月保育所入所調整の結果、来年度の待機児童は解消されたか。 ６，公立保育所の紙おむつ処理事業の進捗状況と処理代を聞く。
２．お買い物クーポン券について	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業所と、市民の方々を幅広く支援することを目的に「向日市お買い物応援クーポン事業」が昨年の１２月１日から今年の１月３１日まで実施された。　利用率は、７３％と大変好評だった。 一方、地域によっては、お店が少なく、結局、使い切れなかった等々の声もあり、使用する側にも扱いやすく、誰もが「助かった」と実感できる事業になり、更なる事業効果の向上とすべての市民のみなさんに喜ばれる支援になることを期待し以下質問する。 ① クーポンを使用する利便性に地域格差が生じてしまうため、登録店が増えるよう事業の啓発や働きかけはできないか。 ② クーポン券に記名をすることに抵抗がある方もおられた。無記名でも使用できるようにできないか。 ③ ５０１円以上で1枚使用できるルールだと使用しやすいがいかがか。 ④ 高齢者の方は、クーポンが利用できる遠方のお店まで買物に行けないなどの理由から使用しにくいと感じられたようだった。他に高齢者の生活支援を目的にした事業もできないか伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	天野　俊宏	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
1． 西向日駅前整備について	西向日駅周辺の活性化と府道整備等について伺う。 1. 本市の活力が北部地域に集中しているが、南部地域の玄関口は西向日駅であり、西向日駅を中心としたまちづくりについて伺う。 2. 活性化と安全面からも、駅西口の府道志水西向日停車場線の歩道が狭隘であり、決して安全とは言えない。この府道志水西向日停車場線の整備が必要であるのと同時に、“ぐるっとむこうバス”の西向日駅西口への乗り入れ、南部ルートの充実を検討してはどうか？ 3. 西向日駅を核とした活性化は、史跡を中心とした観光が欠かせないと考えるが、この際、更なる史跡の拡充と整備をすべきと考えるが如何か 4. 西向日駅からの市内各所への“わかりやすい”観光ルートの路面表示や案内板を設置してはと考えるが如何か
2． 竹の径を活用した 観光振興について	「静かな、誰もいない、フォトジェニック」としての 竹の径の観光振興について伺う。 1. 現在までの、竹の径改革改善ＰＴの分析・検討状況について伺う 2. 今までから竹の径は、様々な媒体に紹介されたり、様々な賞やランキングにも入選されたりしている。売店、休憩所等の観光施設の整備を行う事に時間を要するのなら、それを逆手にとった「静かな、誰もいない、フォトジェニックな竹の径」というようなアピールをしての観光振興とすればどうか？ 3. 竹垣は整っているので、路面舗装も竹の径に相応しい、写真映えする舗装（一部施工されている）を拡げて行けばどうか？
3． 防災士について	防災士への期待と普及について伺う 1. 今年の1月末時点で、全国で222,730名の防災士が認証登録されているようだが、本市には何名くらい登録があるのか？ 2. 防災士は、自助・共助の根幹である地域防災力の担い手であり、地域社会の様々な場面で防災のリーダー的活動が期待できる資格である。そのため、地域コミュニティとしても、非常に期待のできる資格であり、地域力の向上に大きく貢献できる資格であると考えるが、本

	市にとっての防災士に求めること、期待することは何か? 3. この資格取得までには時間的・経済的なハードルがあるが京都府も養成研修を開催する様でもあり、本市としても、防災士認証登録の申請料程度の助成をして、取得促進につなげてはどうか? 4. カロえて、消防団員については、京都府の"わがまちの消防団強化交付金"を活用するのも方法ではないかと考えるが如何か。
4. 市制50周年記念事業と 教育150年について	市制施行50周年事業と、本市の教育150年周年事業等について伺う。 1. 市制施行50周年事業に対しての市長の意気込みについて伺う 2. 周年事業として、市内巡りウォークや同様市(コンパクトシティや歴史の姉妹都市やサミット等)との協定、或いは、日本電産、京都先端科学大学との協定、宣言などは如何か? カロえて、東京2020オリンピックライフル射撃監督の田村恒彦さんからオリンピックの公式ユニフォームを寄贈頂けるとお聞きしている。展示して市民の皆様に観てもらうのも周年事業の一つとしてはどうか? 3. それぞれの小中学校において、子どもたちといっしょに祝える、教育150周年の記念事業の実施はどうか?

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．デジタル田園都市構想に関する取り組みの推進について	① 感染症の拡大防止・不登校児童生徒など誰もがリモート授業を可能とするための通信環境の整備デジタル教材や通信料の無償化など各家庭状況に見合った取り組みを求めるが如何か。 ② オンライン診療を実施する前提となる「かかりつけ医師」を配置し、すべての市民が「かかりつけ医師」と繋がれるための取り組みを強化すべきと考えるが如何か。 ③ 本市の農業経営・デジタル人材の確保・転職なき移住を促進するためのテレワークの拡大やサテライトオフィスの整備等に対する補助金の創設と住宅取得支援や通信料金の軽減などの取り組みを進めるべきと考えるが如何か。 ④ マイナンバーカードの普及率と施策を聞く。 ⑤ １月開始の５０００円分付与がされる制度についてどのように普及促進を進めるのかを聞く。 ⑥ 今後、健康保険証や口座の登録で１５０００円分が付与されるが、どのような利点があるのか。 ⑦ カードの申請が面倒との声があり、また高齢者には理解が難しいと考える。そこで申請説明会やスマホ教室等の普及促進のための対応を希望するが如何か。
２．自販機リサイクルボックス異物混入について	① さらなるごみ減量にむけ「プラスチックごみゼロ宣言」を行うべきと考えるが如何か。 ② 自販機リサイクルボックスへの一般廃棄物の混入について本市の見解を聞く。 ③ 行政として、業界と連携し、異物混入が多いエリアの調査を含めた実態の把握・公共回収ボックスの適切な設置・官民共同の新しいモデル策定等への協議体の立ち上げを提案するが、問題解決の考えを伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	太田秀明	所属会派名	MUKO クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．大規模事業による市民のメリット・ディメリットについて	JR 向日町駅東地区・阪急洛西口駅西地区等の大規模開発による具体的な市民のメリット、ディメリットを聞く。
２．　健康増進センターと市民温水プールについて	①当初の設置目的・経緯並びに市民要望を踏まえての今後の方針を聞く。 ②市民温水プールの状況変化について、教育委員会の考えを聞く。
３．学校・保育園・幼稚園のコロナ感染について	学校・保育園・幼稚園におけるコロナ感染の具体的状況を聞く。
４．　保育所について	①保育内容・条件等における公立と私立の違いを聞く。 ②障がい児入所支援加点の実現性を聞く。
５．多目的グラウンド設置の進捗状況について	多目的グラウンド設置の進捗状況について再度聞く。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	上田　雅	所属会派名	令和新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． ごみ等に関する施策について	ごみの減量を図るための施策について伺います。
２． 農業に関する施策について	農産物のブランド化と環境保全等について伺います。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 「ゆめパレアむこうの今後」の検討の場に利用者・市民の参加を	ゆめパレアむこうの今後について、市民・事業者・行政の知恵を集め、ゆめパレアの継続のための有効な方策のためになすべきことについて伺う。 （１）健康増進センターの運営再開は、いつ頃を目標にしているのか？利用者など関係者の見通しがたつよう、想定するスケジュールを示して頂きたい。 （２）温水プールは、多くの市民に有効利用いただける方策の検討を進めるべきだ。 ①公共の市民プールならではの役割についてどう考えるか？ ②ゆめパレアむこうの今後の検討の場には、最大の当事者である利用者の参加が必要ではないか？ ③４月以降に予定されている市民アンケートは、財政的に厳しいなら閉鎖もやむを得ないという方向に誘導するアンケートになってはならない。市民アンケートの目的・内容・時期について伺う。
２． ＪＲ向日町駅自由通路事業と東口再開発事業について	ＪＲ向日町駅の橋上駅舎・自由通路事業はＪＲとの工事協定が結ばれ、東口の市街地再開発事業は京都府の認可がされた。ＪＲ向日町駅の東口開設事業がいよいよ本格的にスタートするにあたり、事業の進め方と費用負担等について疑問があるため、説明を求める。 （１）橋上駅舎・自由通路に関するＪＲ西日本との工事協定について ①駅舎・自由通路の基本図を、向日市はもっていないのか？持っているけれど公表できないのか？いつ公表できるのか？ ②ＪＲとの工事協定において、工事施工に起因して生じた損害の負担を向日市が負う場合とは、具体的にどのような場合か？ （２）ＪＲ向日町駅東口市街地再開発事業について 本事業の公益性と公費投入の正当性について、改めて説明が必要ではないか？

３． 地球温暖化対策の目標達成へ、向日市行政に求められることは？	地球温暖化対策は、従来の施策の延長線上では不可能な目標の達成が求められている。２０３０年までに脱炭素社会への転換をめざす、本市の意欲的な姿勢と具体的な施策が必要だ。現在策定中の向日市第三次環境基本計画案では、地球温暖化対策を正面に掲げているが、目標達成のために何をなすべきか。 （１）市長は、気候非常事態宣言をいつ、どのようにおこなう考えか？ （２）向日市行政の脱炭素の取り組みについて ①まず行政の姿勢を示すことが必要だ。電力の調達に係る環境配慮方針に基づく電力の購入をおこなうことについて考えをうかがう。 ②向日市行政自身の温室効果ガス削減の現状と目標、計画策定のスケジュールは？ （３）市民の取組みに思い切った支援策を求める 市民に「削減」をお願いするだけでなく、そのための補助事業に予算投入して頂きたい。現在進行中の環境基本計画策定の過程で、市民の取組みに対する思い切った支援策を実施すべきではないか？ （４）計画の進捗をチェックする市民参加の常設の機関設置を求める。
４． 個人情報保護条例の改正に、向日市はどう向き合うか？	国の法改正により、自治体の個人情報保護条例の大規模な改正が求められているが、改正法に無批判に従えば、市民の個人情報を保護すべき自治体の役割を果たせないと考える。 （１）個人情報の取り扱いについて ①改正個人情報保護法のルールでは、自治体の個人情報保護条例における個人情報の収集、利用・提供、要配慮個人情報の収集の制限、外部機関とのオンライン結合制限といった保護措置が大幅に解除されており重大な懸念がある。本市の考えは？ ②国の個人情報保護委員会は、自治体が条例で改正法にない独自の規制ルールを規定することに否定的だが、自治体が自己規律のルールを定めることにまで国が規制をかけるのは、地方自治のあり方に反するものではないか？ （２）市民の個人情報の取り扱いについての大きな変更になる。市職員だけでなく、広く市民に公開して進めて頂きたい。個人情報保護審議会に諮問するなど、第三者に入って検討して頂けないか。

傍聴者　配付資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、ゆめパレアむこうの市民温水プールを存続することについて	ゆめパレアむこうは当初すべて休館、市民の声を聞き存廃を決めると１２月議会前に会派毎に説明、しかし１２月議会では健康増進センターは休館するが、改修して再開すると変更。このことは喜ばしいことですが、市民温水プールは再開するとはいわれていません。２つの施設を一体として利用されている方々から多くの意見要望が出されている。まず利用者への説明もせず休館はないだろう」と。利用者の強い希望で説明会が３回行われ、私は１月１９日の昼の説明会に参加。昼夜併せて約５０人が参加されたそうですが、「こんな立派なプールない。先人が残してくれた遺産は若い方や障がい者も利用してもらいたい」老人クラブの会長も「１７年間プールとセンターを利用している。今の設備が撤去されると健康状況は落ちる」などなど存続を願う多くの声でした。①市長は説明会での意見について聞いておられるのか。きいておられたらどのように感じたのか」②説明会時にプール改修費用が１０億どころか２０億円に届くかもしれないと言われたが、なぜ突然に２０億円にふくれあがったのか。今のままの規模での改修費用見込みと仮に規模を縮小した場合の改修費用見込みについて③存廃を決める今後のスケジュールは④健康増進センターはいつ頃までに改修し、再開はいつ頃の予定か。管理運営はどのようにするのか。⑤市長にゆめパレア存続の要請書が３７９０筆提出。どのように受け止めているか。

２、職員の公正な職務の執行の確保に関する条例制定後の組織の変化と市民との信頼関係について	「何でもものが言えるような雰囲気」「風通しの良い組織」が大切だと２年前の事件の検証委員会報告があった。①市長はそのような組織風土になっていると考えておられるか。どういう努力をしてきたか。②職員が対応している相手である市民から大声で怒鳴られたりした場合は組織で対応するようになっているか。③条例の職員研修及び職員の認識は万全か。④３年程度の人事異動はスペシヤリストが育成できない。スペシヤリストの採用や職員を育てる方法は⑤現場職員の意見を大切にしているか。⑥公民館・コミセン・老人センター・図書館など公共施設が気持ちよく使えることについて。
３、阪急洛西口駅西地区土地区画整理事業の送電鉄塔建替工事などについて	関西電力送配電株式会社より、送電鉄塔建替工事を実施すると石田町地域にチラシが配布されました。石田町の方はびっくりして工事会社に問い合わせられたところ、石田町内南西側住宅地域から２０㍍離れたところに鉄塔を移設し、他の鉄塔は地下にもぐらし、電線の地中化を行うといわれた。関電にも電話されたら「京阪から町内会が了解して頂いたという報告で計画した」とのこと。市役所に問い合わせると、「市役所はこのチラシを受け取っていない。私らに関知できない問題といわれたとのこと。①鉄塔建替工事に伴う地質調査の知らせを市は知らない。関知できない問題とはどういうことか。②石田地域への助言や指導はする必要があるがどうか。③石田町地域の方は鉄塔移設場所を承知していないのに「承知した」と報告した京阪に市は指導するべきだがどうか。④土地代金は地権者に支払われていないが、この開発地域の売買はじめホテル・オフイスビルや温浴施設・病院などについて現在どこまで計画されていると聞いているのでしようか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	永井照人	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 農地所有者の立場から特定生産緑地と税等について	本市の都市計画及び史跡保存の事業が農地の相続税等に及ぼす影響について、それぞれの事例について尋ねる。
２． ゼロ成長時代及びコロナ禍の中で本市の教育等の取り組みについて	コロナ禍を含む近年のゼロ成長時代の中で貧富の格差が拡大してきている。この中で子供の食事や教育に関しての公助の取り組みの状況と今後の事業の提案をする。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	和島一行	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．猫の餌やり禁止看板、他について	①飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助事業がスタートしてから現在までの手術をした猫の頭数、そしてその中で最も利用が多かった地区、多かった月をお尋ねする。 ②路上死亡猫の頭数を伺う（交通事故、不明な死） ③ホームページには手術後交付されたら、見守り開始と謳っているが、その後の確認はしているのか。 ④向日市で譲渡会を開催したいが場所がない。長岡京市産業文化会館では開催ができるようであるが、本市の公民館は使用可能か。屋外での場合、公園は利用可能か。 ⑤「猫の餌やり禁止」の看板の文言を、ホームページに周知している内容を抜粋した看板にできないか。ただの「餌やり禁止」では、適正に餌やりをしている方が悪者にしたてあげられてしまう。対立を生み出すこの看板には賛同できない。直ちに文言を変更するよう要望する。
２．竹の径の整備について	本市の観光の一翼を担う「竹の径」であるが、今年度も竹垣整備に力を注ぐ予算案がでている。 ①毎年夏になると、同じ箇所で破壊される竹垣（寺戸垣）がある。この箇所の奥にクヌギの木があり、そこにカブトムシが群がっていることがわかった時から、竹垣を破壊し、金網を昇り採集する人が多い。竹垣の種類は寺戸垣で、この竹垣は昇りやすく、壊しやすい形である。昨年、壊されて再び修繕したようだが、同じ寺戸垣であった。これは立派な犯罪である。これからの対策を伺う。

３．公式LINEアカウントのバージョンアップを	今年度の予算案でも LINE を使っての粗大ごみの受付ができる施策があるが市民に寄り添った、市民が便利に生活できる施策は大いに実行していただきたい。 １３９５５人の登録数があるところから、一歩踏み込んだバージョンアップをすることが重要である。費用対効果も大切だが市民優先、職員の作業効率がアップする。 ①LINE コロナワクチン予約でもあるように、市民からよくある質問は AI チャットポッドが返答できるようできないか。 ◆メリット　・比較的導入しやすい　・24 時間、365 日対応できる　・人件費節約につながる、職員が他の業務ができる　・多言語に対応　・市民の満足度が上がる ②これからの災害に備えて防災機能が必要ではないか。防災マップの周知も大切だが、いざという時にすぐに取り出せない。人命にかかわることなのでこれは実行していただきたい。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
1．災害時の自宅療養者、濃厚接触者の避難場所について。	我が国では、毎年自然災害が発生しており、国民の防災意識も高まってきているが、コロナ禍における自宅療養者及び濃厚接触者の避難場所の確保に、各自治体が苦慮している。 政府の中央防災会議は、自宅療養者の避難先の確保や居住先の危険状況を確認するよう求めている。 自宅療養者等に対して、宿泊療養施設への誘導または専用の避難所の開設を行うのか、本市の対応を聞く。 また市は、避難所の確保はできても、自宅療養者等の情報を持ち合わせていない。発災時に保健所との情報共有が必要であると思うがいかがか。 今年 2 月 13 日の NHK の報道によると、「福島県の 56 市町村が夜間災害想定の避難訓練を震災以降実施せず」と報じられている。 多くの自治体では、夜間訓練の「必要性は認識しているが実施できていない」と回答している。 本市では夜間の災害対応を想定しているのかお聞きする。
2．帯状疱疹の予防接種費用の助成を求める。	帯状疱疹は子供の頃にかかった水疱瘡のウィルスがそのまま体内に潜伏し、強いストレスや免疫力の低下で発症する病気である。 日本人の 90%が水疱瘡にかかり、80 歳までに 3 人に 1 人が帯状疱疹にかかると言われている。 一度発症すると再発の可能性は低いが、過酷な痛みを伴う。 予防接種をすることで防げる、またはかかっても症状を緩和することができる。 しかし接種の費用は約 1 万円から 2 万円と高い上に、病気自体の認知度も低い。 また帯状疱疹の治療薬の薬価は高く、治療費もバカにならない。

	接種費用を助成する自治体もあり、本市でも費用の助成と啓発をお願いしたいがいかがか。 主要事業の成人男性風しん予防接種事業について、令和元年度から 3 年度まで実施していたが、抗体検査を受けた方は対象者の半分にも達していないとのことであった。 この事業は、ワクチン未接種対象者のためだけではなく、生まれてくる赤ちゃんに重い障害を残さないため、社会全体で風疹を抑え込もうとする事業である。 これまで以上の啓発活動をお願いする。 抗体検査は特定検診のついでにできるものであるが、人間ドックの時もできるのかお伺いする。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	常盤　ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．ジェンダー平等社会の実現に向けて	ジェンダー平等社会とは、誰もがその人らしく生きていくことができる社会であるが、日本は「ジェンダーギャップ指数」において政治、経済、健康、教育の分野で１５６ヵ国中１２０位である。 １．持続可能な開発目標 SDGs の５番目「ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」とされているが、市の男女共同参画計画は市民にどのように広め周知していくか。 ２．ジェンダー平等社会、男女共同参画の視点へ向けた職員研修などの取り組みについてはどうか。 ３．女性差別撤廃条約選択議定書の批准への市長の考えを聞く。 ４．教育現場でのジェンダー平等実現への取り組み、児童生徒へのジェンダー教育、教職員研修、保護者への働きかけなど、どのように実施されているか。 ５.DV 相談、性暴力相談の 24 時間対応の電話、LINE など SNS を使った体制の実施へ、府からの支援を求めていただきたい。 ６．向日市でも２１年１０月からパートナーシップ宣誓制度が施行された。制度の周知と自治体間協定についての今後の取り組みについて聞く。
２．手話言語条例の状況、加齢性難聴者への支援について	１．向日市手話言語条例は平成２９（2017 年）３月３日に制定された。 城陽市、京都市に続き京都府で 3 番目、全国では６４番目である。 ①条例の目的には、「市民の手話への理解の促進と手話の普及を促進するために、基本理念を定め、市の責務及び市民の役割を明らかにする」とされている。条例制定後のこれまでの成果について聞く。 ②手話を学べる動画発信されているが、もっと動画を見てもらうための取り組みについてどうか。 ③現在手話通訳有資格者は５人。今後、庁内に手話通訳者を増やす見込みと採用についてどうか。

	④これからの課題はどうか。 ２．加齢性難聴者への支援について ①補聴器購入の補助制度について ②来客を光で知らせるインターフォンの周知と補助について 以上、検討していただきたいがどうか。
３．不登校・ひきこもり支援について	１．長引くコロナ禍により不登校支援の在り方もさらに多様性が求められている。中学校卒業後の進路も併せて相談体制など拡充された施策はあるか。 ２．不登校児童生徒へのタブレットの利活用について現状を聞く。 ３．長岡京市では新年度予算で「ひきこもり支援の訪問相談事業」に 630 万円の予算が計上された。今後ひきこもり支援へ市として考えていることはあるか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 国連の「世界社会正義の日」を広く啓発し、市役所・学校等で実践することについて	2月20日は「ワールドデイオブソーシャルジャスティス」の日で、貧困の撲滅と公正な社会などの実現を目指す国際デーで、日本社会福祉会や ILO(国際労働機関)や、国際ソーシャルネットワークなどが加入している。 今年に入って、17才の少年による東大前刺傷事件や、19 才の少女による大学入学共通テストの不正事件などがおこり、日本社会は大きな闇を抱えている。 人間性を失くさせる格差社会で、誰が犯罪者や被害者や自殺者になるやもしれず、日本人の心が劣化していくばかりである。 北海道八雲町立の野田生中学校では、この「世界社会正義の日」の取り組みをしている。 向日市でも実践して欲しいがどうか。また図書館の優れた児童書の活用も要請したいがどうか。
２． 男性の育児休業取得促進等ジェンダー平等社会の構築について	今年４月１日から法改正が施行され「出生児育児休業」が新設され、出生後８週間以内に４週間まで取得でき、２回まで分割取得も可能となる。 これに違反した場合は行政から報告を求められるとともに改善のための勧告を受け、これを無視した場合は罰則もある。 誰もが安心して働き続けられることや、ジェンダー平等を推進するため、市が率先して広報等で啓発し、この法改正の意義と内容を周知徹底してほしいがどうか。

3． 飼い主のいない猫の不妊去勢手術等補助金交付制度の拡充について	とても好評であるとのことだが、予算を超えた場合も、不幸な野良猫を増やさない様、予算を拡充して欲しいがどうか。 また、迷い犬・捨て犬もいるので、犬への対応もして欲しいがどうか。
4． 五塚原古墳とはり湖山の自然の保全について	この優れた文化財の調査研究の報告書・全三冊が出版され、私も読んで大変感激した。 コツコツと調査活動をされた埋蔵文化財センターの方々や、立命館大学の皆々様を市が表彰してはどうか。 美しい森の復旧や散策路を直して小学生等の社会学習体験学習に寄与して欲しいがどうか。
5． コロナ禍の海外ルーツの子どもたちの支援施策をすることについて	19年に「日本語教育の推進に関する法律」ができ海外ルーツの子どもたちが孤立やドロップアウトしないよう、行政担当者や学校教職員が「外国人ウェルカム」の心を持って対応すべきで、多文化共生教育は大事な人権問題であり、しっかり取り組むべきであるが見解を問う。
6． 第3保育所跡地を活用し、休園時「代替保育」を！	厚労省は2月8日、オミクロン株の特性を踏まえ、保育所が休所の場合、他の園や公民館で預かる「代替保育」を促進するため自治体に財政支援することを発表した。 保育士の資格がなくても特例でできるとのことで、ぜひ向日市でも、早急にプランを立て、働く母親が安心できるよう対応して欲しいがどうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１． コロナ対策及び検査体制について	国は１日１０万件を超える新規感染者が出る中で、高齢者施設、エッセンシャルワーカーへの３回目接種、保育所園児・小・中学生への対応と大規模接種等への対策を２月６日に始めたが、3回目接種を科学的根拠もなく２回目接種後８か月後としたものを急に 6 か月に変更したために、現場は大混乱している。
２． 向日市のＣＯ2 削減による気候温暖化対策	① 再生エネルギーの採用について、具体的にどのように検討されたのか？向日市の第３次環境基本計画策定委員の木原浩貴氏（京都府地球温暖化防止活動推進センター副センター長）は、専門家であり助言を受けて具体的に検討してはどうか。 ② 基本計画策定委員会では、むこう脱炭素プロジェクトの取り組み概要として、「再開発事業における脱炭素化の推進」を掲げておられます。今、向日市の大型開発がＪＲ向日町駅東口市街地再開発事業や、森本東部まちづくり事業についても脱炭素推進の立場から両事業者に、省エネルギー化や緑化についての協力要請をするべきです。
３． 都市計画道路牛ケ瀬馬場線について	① 大型車が通ることによる市民の不安については、どのように対応されるのでしょうか。 ② 環境省の基準ではアセスメントの必要性は求めていないが、事業化の際には必要に応じて調査検討する必要があると考えていると解答されていました。今後どのように意見が反映されるのでしょうか。

４． 通学路の安全対策	向日市は通学路の緊急一斉点検を５７か所実施されました。第５向陽小学校区内は１９の点検箇所があり、その対策としては、多くは電柱幕の設置と啓発看板の設置となっています。 都市計画道路説明会では、牛ケ瀬馬場線が完成することが通学路の一番の安全対策とは理解できません。 ２月１５日点検箇所を現地確認させていただきました。 質問と要望 １－イトーピアマンション前の横断歩道の白線が消えかかっているので塗り替えを。 ２－上植野コミセン前の私道６０６３号線が拡幅されたことによる、通過車両が増え危険度が増しているその対策を。 ３－児童の登校は毎日行われています。都市計画道路が一番の安全対策としていますが、いつ完成するかも明確でない状況を放置していいのでしょうか。現に、浄水場前の児童のたまり場のＵ字型ガードに車が衝突した跡があります。少なくとも、交通指導員を配置するべきと考えますがいかがでしょうか。 ４－斉点検個所４６番の外環状線の点検理由として、「交通量も多く速度も速い。大型トラック等も走るため危険。」とされており、都市計画道路牛ケ瀬馬場線はその延長であり、しかも住宅街を通ることになるが、その対策は、どのようになされるのでしょうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．JR 向日町駅について	JR 向日町駅東口開設については、事業の全容を市民に明らかにし、向日市の将来に向けたまちづくりの一環として、市民の間で懸念されている事項や問題とされる点について指摘してきた。今月 10 日には自由通路新設に係る工事協定の締結がなされ、18 日には再開発事業組合の設立認可が京都府において出された。前回議会で東口開設に係る約 42 億円の債務負担行為が提出され、また今年度当初予算についても実施設計に係る予算が組み込まれている。JR 向日町駅東口の開設は東側地域の長年の要求でもあるが、再開発事業についてはその必要性や進め方などに疑問の声が多々出ているところである。 １．工事概算額調書における概算額の根拠は何か。 ２．公的な負担が 40 億円以上もあるのであるから工事概算調書の根拠となる資料は広く市民に公開するべきではないか。 ３．国交省の要綱では、駅舎の工事費への公的な支出は橋上駅舎の工事費から地上での駅舎建替え工事費を差し引いたものにすることができるとある。市民負担低減のために検討するべきではないか。 ４．協定書の第 13 条よると「甲は、工事しゅん功後、自由通路及び駅前広場に必要となる乙の用地（別紙４用地処理図（以下「用地処理図」という。）に黄色で示す部分）を取得するものとする。」とされているが、この部分の取得費用の概算が示されていない。他駅の工事では無償で譲渡されている場合もあるが、本市でも要求するべきではないか。 ５．橋上駅舎使用開始と自由通路東口開設は同時ではないが、線路側の再開発ビルの開業前でもビル内の通路部分の工事を先行させれば、橋上駅舎と自由通路の開設は同時にすることが可能である。 ６．自由通路は自転車を押して利用できるような形にしてほしい。

２．精神障がい連絡員の設置について	長岡京市では本市と同様に基本計画等を策定しておられるが、「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」に規定する相談体制を整備するため、平成 30 年４月に精神障がい者に対する差別的取り扱いや合理的配慮の不提供に関する相談を受ける長岡京市精神障がい者連絡員を設置しました。」とされている。本市においても長岡京市と同様な制度の整備を行われてはいかがか。
３．道路整備について	生活道路整備については、これまでも我が党は何度か取り上げて来ている。生活道路の整備の必要性については市でも重要性については認識しておられるが、非常に市民要求の強い課題でもあり、なかなか改善が進まない分野でもある事を指摘したいと思う。 １．電柱により歩行者等の円滑な通行が阻害されている場所への対策について ２．東西交通の円滑化について 森本町から上植野町にかけて複数ある地下通路について本格的な改修の検討を市として行う必要があると考えるがいかがか。
４．災害時のペットへの対応について	東日本大震災以降、ペットの同行避難について社会的にも要請が強まっているところであり、2018 年には環境省が「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を作成している。本年 2 月には環境省が自治体の管理者向けにチェックリストを作成し、近く都道府県などに通知する方針を決定している。現状と今後の方向性について伺う。
５．小中学校におけるタブレット端末の使用について	本市においては昨年より、市内の全小中学校において、児童生徒一人につき 1 台のタブレット端末導入されたところである。保護者におかれても長期間の休暇による学習の遅れなどを心配されておられるところである。 １．新型コロナ感染症における陽性者や濃厚接触者となった場合や、感染予防の目的で自主的に休校している場合等で、児童生徒への学習の保障や面談などの機会の確保への対応について ２．長期休校になる児童生徒への対応について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．原発事故から１１年目の防災対策について	１．政府の発表では、原発事故からふるさとに戻れない住民は福島県だけで３．５万人と岩手、宮城両県含めて約８万人が全国各地に避難されているとなっています。本市でも福島県から避難者が暮らしておられますが把握されていますか。行政として援助と支援はどうか。 ２．今年度の向日市防災会議の開催予定について ３．向日市防災訓練について 昨年度は参加者の安全上から中止されていますが、防災、減災にむけた訓練再開をすべきです。災害発生時の住民の新しい避難情報の変更と防災マップ改訂について ４．２０５０年にはLNGと石炭火力発電は停止されていく運命になってきました。 原発に頼らずエネルギーを得る対策と施策に真剣に取組むべきです。 経産省資源エネルギー庁の HP にあるようにこれからの省エネ化と新エネルギーの活用として再生エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）の転換しかない。地球温暖化対策 COP３から発信した京都からすすめていく意義があります。電気の地産地消について
２．府道の整備改修と計画路線の改廃について	１．府道の整備について 府道路にかかる橋梁、JR 京都線下(アンダーパス)の安全点検と整備を問う。府に対して前田地下道の歩道改修整備についての協議について ２．府道（外環状線第２工区）廃止決定以降からの対応についてと関連し府道西京高槻線寺戸工区その２の拡幅改修事業の進捗と今後の完成にむけた予定はどうか。

傍聴者　配布資料

３．東山への「ぐるっとむこうバス」のルート改定を急げ	１．昨年末の第３回地域公共交通会議で、２カ所のバス停新設が提案されていました。１日も早く実現するよう期待されています。 配付資料によると、運行開始からの運行実績によると、南ルートは北ルートの約２倍となる数値でした。この数値をどのように受け止めていますか。次に、２０２１年の運行経費から乗車料金収入を差し引いた収支（見込み）についてどうか。次回公共交通会議の開催はいつか ２．運行ルートに阪急西向日駅を結ぶ見通しについて。燃料価格高騰の影響について ３．コミュニティバスの今後の利用促進について 高齢者をもっと元気にするための施策。 長距離移動困難者など利用促進策は 市のイベントや土日の運行を検討すること
４．憲法９条と「敵基地攻撃能力」について	政府は、今国会の答弁で「敵基地攻撃能力」とは、相手国の領域まで踏み込んでレーダー基地を破壊し、制空権を確保した上で敵のミサイル基地を破壊していく一連のオペレーションの検討をしていると明言しました。 これまでの憲法解釈を超え平和理念９条に反するものではないでしょうか。 向日市は、「世界平和都市」としての立場を十分に発揮されんことを希望しますが、憲法認識と平和理念についての見解と新たな「敵基地攻撃能力」論及び憲法９条に自衛隊の明記に対するご所見を問う。